

# 栗原地域だより

第 21 号

平成 27 年 9 月 1 日 発行

## 目 次

- 「体感！内陸地震からの復旧・復興と森の恵み収穫ツアー」を開催します p1
- 岩魚養殖発祥の地で「栗駒耕英岩魚祭」が開催されます！ p2
- 第 10 回栗原市畜産共進会が開催されました p2
- 栗原市の一部でたけのこの販売が可能になりました p3
- 今年も栗原にマラウイ共和国から研修生が来ました！ p4
- 世界谷地湿原でヨシ・ササの刈り取り作業を行いました p4
- 北部管内農地集積担当者研修会を開催しました p5
- 平成 27 年度栗っこ農協「仙台牛」枝肉研究会が盛会裡に開催されました p6
- みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期区間(築館工区)の本格工事がスタート！ p7
- 農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています p8

栗駒山の紅葉



### 「体感！内陸地震からの復旧・復興と森の恵み収穫ツアー」を開催します

北部地方振興事務所栗原地域事務所

栗原地域の森林・林業は、二度の震災により大きな被害を被りました。岩手・宮城内陸地震によって崩壊した森林は復旧工事が進み、現在、緑が戻りつつありますが、一方で、福島第一原発事故でのきのこのや山菜類の風評被害は未だに深刻です。そこで今回は、内陸地震による崩壊地と復旧工事の現場や、操業を再開し頑張っているきのこの生産施設をバスで巡りながら、震災からの復旧・復興状況を体感する公募ツアーを開催します。皆様の参加をお待ちしております。

- 【見学内容】
- ①大規模地滑り地の状況（栗駒耕英地区）
  - ②山腹崩壊地の復旧状況（花山地区）
  - ③しいたけ生産施設の見学と収穫体験（築館地区）
  - ④なめこ生産施設の見学と収穫体験（築館地区）

【開催日時】 10月31日(土) 午前8時から午後6時まで

【集合場所】 仙台駅貸切バス駐車場（午前8時）  
または県栗原合同庁舎（午前9時20分）

【募集人数】 30名（先着順） 【参加費用】 1,500円（昼食代等）

【申込方法】 10月2日(金)までに住所、氏名、年齢、電話番号、乗車希望場所（仙台駅もしくは栗原合同庁舎）を下記宛てに御連絡下さい。



昨年のツアーでの「きのこ収穫体験」の様子

### ■お申し込み・お問い合わせ 林業振興部林業振興班

〒987-2251 栗原市築館藤木 5-1 Tel: 0228-22-2381 Fax: 0228-22-5795

E-mail: [nh-khnr-rg@pref.miyagi.jp](mailto:nh-khnr-rg@pref.miyagi.jp)

岩魚養殖発祥の地で「栗駒耕英岩魚祭」が開催されます！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

栗駒耕英地区は、日本の岩魚養殖発祥の地であることをご存じでしょうか？「栗駒耕英岩魚祭」は、名産品の岩魚に感謝し、より多くの方々に美味しい岩魚を知ってもらおうと、地区の方々が中心となって平成25年度から始まったお祭りです。

今年は、9月19日（土）にハイルゲーム栗駒の駐車場を会場に開催されます。当日は、地区の5店舗が提供する「ミニ岩魚丼」をはじめ、岩魚の塩焼きや高原野菜などの地場産品が販売されるとともに、よさこい団体による乱舞やライブコンサートなどのイベントも行われます。また、お子様限定で無料の岩魚掴み取りも体験できます。

ぜひ、紅葉シーズンを迎える栗駒山へ足を運んでいただき、美味しい岩魚料理とイベントを楽しんではいかがでしょうか。

なお、岩魚塩焼きや特産品の引換券が付いたお得な特典付き前売りチケット（税込み1,000円）が県合同庁舎売店をはじめ市内関係機関等で販売されております。数に限りがありますので、お早めにお買い求めください。

【会場】ハイルゲーム栗駒 駐車場

【開催日時】平成27年9月19日（土）11時開会

■お問い合わせ 栗駒耕英岩魚祭実行委員会事務局（ハイルゲーム栗駒内） Tel：0228-43-4100



岩魚の掴み取りをする子ども達

(昨年の様子)

第10回栗原市畜産共進会が開催されました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

平成27年7月4日（土）、栗原市築館のJA栗っこ畜産センターにおいて、栗原市農業振興協議会主催による第10回栗原市畜産共進会が開催されました。

乳用牛は5つの審査部門に25頭が出品され、志波姫地区の伊藤紀彦さんが所有する「スペシャル アイオーン フロスト号（育成）」と一迫地区の(有)小山牧場が所有する「アイスヴィレッジ エランド ボーイ号（経産）」が名誉賞を受賞しました。



乳用牛名誉賞のスペシャルアイオーン

フロスト号（手前）

肉用牛は個体審査部門に37頭、群出品部門に9組36頭の牛が出品され、一迫和牛改良組合の菅原博さんが所有する「ひろあかり号」が名誉賞を、栗駒高原和牛改良組合が団体賞を受賞しました。

肉用牛の部の入賞牛は9月11日（金）、12日（土）に美里町の「みやぎ総合家畜市場」で開催される県共進会へ出品される予定です。



肉用牛名誉賞の「ひろあかり号」

■お問い合わせ 畜産振興部 畜産振興班  
Tel : 0228-22-2487

栗原市の一部地域でたけのこの販売が可能になりました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

栗原市産のたけのこは、放射性物質検査において一部地域から食品の基準値である100Bq/kgを超える値が検出されたことから、平成24年6月29日付けで国から出荷制限指示が出され、直売所等での販売ができない状況が続いていました。

このため当事務所では、出荷制限解除に向け、生産者の方々から広く御協力をいただき、放射性物質検査を継続的に実施し安全性を確認してきましたが、この度、平成27年7月17日に栗原市の築館、志波姫、瀬峰、高清水の旧4町の地域について、出荷制限が解除されました。



たけのこ出荷制限解除に向けた説明会の様子

今回、出荷制限が解除された地域から産出されたたけのこは販売が可能になりましたが、出荷を再開する生産者は、「宮城の安全・安心なたけのこ生産管理実施要綱」に基づき、生産者登録や出荷管理等の各種手続が必要になります。また、出荷制限が解除された市内旧4町以外で採取されたたけのこは、引き続き出荷が制限されており、販売することはできませんのでご注意ください。

なお、たけのこの出荷制限解除に関する詳しい内容については、下記までお問い合わせください。

■お問い合わせ : 林業振興部 林業振興班 Tel : 0228-22-2381



## 今年も栗原にマラウイ共和国から研修生が来ました！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

宮城県では、昨年に引き続きマラウイ共和国より4名の研修生を受け入れ、同国の農業水利技術の向上を目的とした研修を、7月21日から8月7日まで行いました。

マラウイ共和国はアフリカ大陸南東部に位置し、日本の九州と北海道の面積を合わせた程の国土面積を有しています。基幹産業は農業ですが、雨水に依存しているため、農産物の安定的な生産及び増産を進める上で、乾期における水の確保が課題となっています。

研修期間中、栗原管内には7月30日に表敬訪問で当事務所を訪れました。その際には、稲わらの利用や管内の農業土木施設について説明を行ったところ、皆熱心に聞き入っていました。また、所長から栗原市のマスコットキャラクター「ねじりほんによ」のてぬぐいを贈呈すると、皆喜んでいました。現地視察では、栗原管内の小山田川沿岸土地改良区の宿の沢ダム等のかんがい施設や、当部の栗駒ダム遠隔管理システムを訪れ、各担当者からの説明に耳を傾け、質問をしながら真剣に学んでいました。

今回の研修で学んだ技術と知識が、マラウイ共和国の豊かな国づくりに繋がることに期待します。

■お問い合わせ 農業農村整備部 管理調整班

Tel : 0228-22-2398



かんがい施設視察



ねじりほんによのてぬぐいの贈呈

## 世界谷地湿原でヨシ・ササの刈り取り作業を行いました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

栗駒国立公園の中にある世界谷地湿原は、貴重な高層湿原として学術的価値が高いだけでなく、初夏にはニッコウキスゲやキンコウカなどが咲き乱れ、その美しい景観で多くの人に親しまれています。しかし、一部で乾燥化が進み湿原特有の植生が変化してきたため、県ではボランティアの方々の力をお借りして、乾燥化に伴う侵入植物であるヨシやササの刈り取りを行っています。



一本ずつ手で刈り取ります

この刈り払い作業は 10 年ほど継続して行っておりますが、まだ湿原内のヨシやササは多い区域があります。今年の作業は、8 月 7 日（金）に行われ、県関係以外で 7 団体、79 人も参加をいただき、大量のヨシやササの侵入植物を除去することができました。

湿原の乾燥化は植物遷移による自然の流れですが、長い時間をかけて出来上がる湿原の美しい景観を少しでも長く維持できるよう、今後も作業を続けていきます。



来年度もきれいな花が見られますように

■お問い合わせ 林業振興部 森林管理班  
Tel : 0228-22-2133

### 北部管内農地集積担当者研修会を開催しました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

7 月 31 日に、栗原合同庁舎で北部地方振興事務所管内（栗原管内と大崎管内）の市町、土地改良区、JA など関係機関のほ場整備地区における農地集積の担当者を対象に、平成 27 年度北部管内農地集積担当者研修会を開催しました。

ほ場整備地区においては、農地の大区画化による農業生産の効率化を図るとともに、今後の農業を担う経営体に農地を集めて経営規模の拡大を図る農地集積に取り組んでおり、研修会では、ほ場整備地区における農地集積についての県の業務方針やスケジュール、補助事業の要件などについて説明が行われました。また、新しい農地の貸借の制度として平成 26 年度から始まった、農地中間管理事業の状況や取り組み事例についての説明も行われました。



北部管内農地集積担当者研修会の状況

この研修会を通して、今後の農地集積の目標達成及び農地中間管理事業の推進に繋がることが期待されます。

■お問い合わせ 農業農村整備部 管理調整班 Tel : 0228-22-2458

## 平成27年度栗っこ農協「仙台牛」枝肉研究会が盛会裡に開催されました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

平成27年8月4日（火）、5日（水）に東京都中央卸売市場食肉市場において、栗っこ農協仙台牛肥育部会主催による平成27年度栗っこ農協「仙台牛」枝肉研究会が開催されました。

栗っこ農協管内には、長年に渡り銘柄牛を生産してきた若柳牛肥育部会と仙台牛肥育部会がありましたが、今年度から2つの部会を一本化し、栗っこ農協仙台牛肥育部会として活動しています。今回の枝肉研究会は、部会が一本化されてから初めての開催となり、36頭の牛が出品されました。

枝肉審査の結果、瀬峰地区の鈴木秀一さんの出品牛が格付け等級最高のA5、脂肪の入り具合を示す脂肪交雑（BMS）も12段階中の11、枝肉重量も580kgで質、量とも優れ、チャンピオン賞を受賞しました。

栗原地域では、市、農協、栗っこ農協仙台牛肥育部会が主体になり「栗原産仙台牛協会」を今年度設立しました。今後は、これまでの生産活動に加え、栗原産仙台牛の銘柄確立や消費拡大などに向けて取り組んでいく予定です。



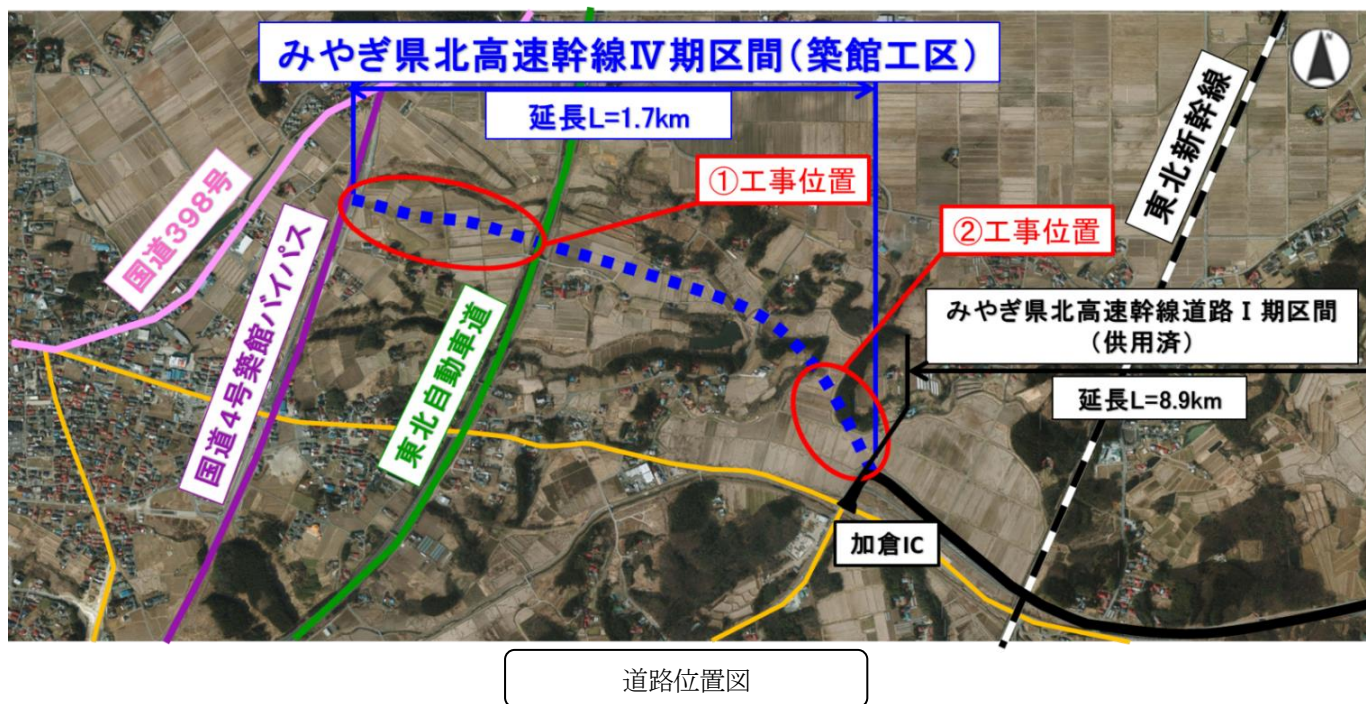
枝肉研究会審査の様子

■お問い合わせ 畜産振興部 畜産振興班 Tel：0228-22-2487



みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期区間（築館工区）の本格的工事がスタート！

北部土木事務所栗原地域事務所



道路位置図

「みやぎ県北高速幹線道路」は、県北地域の東西を結び広域的な連携を強化するとともに被災地の復興支援や災害時の支援物資輸送などを担う、「復興支援道路」として整備を進めている道路です。

当事務所では、平成 23 年 11 月に供用開始したⅠ期区間 8.9km に引き続き、国道 4 号築館バイパスと供用済のⅠ期区間を結ぶⅣ期区間 1.7km について整備を進めています。

去る 7 月 23 日（木）に工事請負者主催による安全祈願祭が開催され、本格的な工事がスタートし、現在、①国道 4 号築館バイパスから東北自動車道までの区間の盛土工事と、②加倉 IC から北西方向に向けて地盤改良工事を行っています。

みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期区間（築館工区）の事業推進、早期供用に向けて、地域の皆さまの一層のご理解とご協力をお願いします。



安全祈願祭の様子



①工事位置の様子



②工事位置の様子

■お問い合わせ 道路建設班 Tel : 0228-22-2189

農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています

(平成 27 年 6 月 9 日～8 月 10 日)

北部地方振興事務所栗原地域事務所

6 月 9 日から 8 月 10 日までの間に農林産物 34 点を簡易検査し、すべてが食品の基準値（100 ベクレル/kg）以下でした。また、基準値の 2 分の 1（50 ベクレル/kg）を超え、精密検査が必要になる食品もありませんでした。

このように、市場に流通している農林産物は計画的に検査して安全性を確認しておりますので、安心してお召し上がりください。

☆簡易検査の測定値が基準値以下であったもの（6/9～8/10）

農産物			林産物			
品名	施設	露地	品名	施設	露地	野生
うめ(3点)	—	◎	クワの実	—	—	◎
かぼちゃ	—	◎	ふき	—	◎	—
キャベツ(5点)	—	◎				
きゅうり	◎	—				
こまつな(2点)	◎	◎				
ゴーヤ	—	◎				
四月しろな	—	◎				
じゃがいも	—	◎				
ズッキーニ	—	◎				
そらまめ	—	◎				
だいこん(2点)	—	◎				
とうもろこし	—	◎				
トマト	◎	—				
なす(2点)	—	◎				
にんじん	—	◎				
はくさい	—	◎				
ピーマン	—	◎				
ブルーベリー	—	◎				
ブロッコリー	—	◎				
みずな	◎	—				
ミニトマト	◎	—				
レタス	—	◎				
わさびな	—	◎				

◎：基準値以下      ー：検査未実施

※放射性セシウム濃度基準値

食品群	基準値(1kg あたり)
飲料水	10 ベクレル
乳児用食品	50 ベクレル
牛乳	50 ベクレル
一般食品	100 ベクレル

詳しくは厚生労働省 HP を  
ご覧ください。

([http://www.mhlw.go.jp/shinsai\\_jouhou/shokuhin.html](http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/shokuhin.html))

■お問い合わせ 農業振興部 先進技術班 Tel：0228-22-9437（農産物）

林業振興部 林業振興班 Tel：0228-22-2381（林産物）

発行：宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所（地方振興部）

〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木 5-1 Tel：0228-22-2195(直通) Fax：0228-22-6284

E-mail：[nk-khsinbk@pref.miyagi.jp](mailto:nk-khsinbk@pref.miyagi.jp)

ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/9.html>

※次号（第 22 号）は 11 月 2 日発行予定です。